

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床治療論 ME機器		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	姉妹校実習室
担 当 教 員	水野 勝博	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として、三菱京都病院、大津市民病院等で勤務し生命維持管理装置の操作、保守点検に従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
<p>医用治療機器・生体計測装置の原理・構成を理解し、実習を通して機器の使用方法や安全について理解を深める。 (機器例:パルスオキシメータ、カプノメータ、電気メス、除細動器、人工呼吸器など)</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>機器に関する演習を通して理解度を確認する。70% 出欠を20%、授業中の態度を10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:MEの基礎知識と安全管理(南江堂)、ナースのためのME機器マニュアル(JJNスペシャル)(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
<p>予習:参考図書の該当箇所を読み、各医療機器の予備知識と全体像を把握する。 復習:講義や実習で得られた知識・技術をノートに整理する。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
治療機器、計測機器、生体機能代行装置に関する基本事項の理解に努めてください。実習は教員の注意事項を遵守し、安全に留意して行ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	呼吸解剖生理、循環器解剖生理	該当機器		予習:参考書の該当箇所を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	人工呼吸療法について<モード呼吸リハ>			
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	人工呼吸、心電図について	該当機器		予習:参考書の該当箇所を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	人工呼吸、心電図について			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器、心電図実習	該当機器		予習:参考書の該当箇所を読む。 復習:講義内容をノートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	呼吸器、心電図実習			
第4回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
第5回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				